

第30回電子顕微鏡解析技術フォーラム

会議録

(1) 日時：2008年12月19日(金)

(2) 場所：青山学院大学相模原キャンパス K棟209 ミーティングルーム

(3) テーマ：2008年電子顕微鏡解析技術フォーラム 一日講演会

(4) 成果：この講演会は、初心者を対象として、電子顕微鏡の基礎およびSTEM-LAADFの基礎から3次元トモグラフィーを含めた応用事例を学んだ。「ざっくばらんトーク」では、事前に、参加者の日頃の問題点・疑問点を中心に話題提供を呼びかけ、また提供された問題点を全員にメールで知らせたこともあり、いろいろな角度から活発な議論ができた。また、夏のフォーラム時の課題として、その後検証した結果を持ってきた参加者もあり、より深い討論の場ができた。さらに、青山学院大学の好意で、理工学部機器分析センター所有の装置を見学することができた。

(5) 参加者：48名(会員：18名、非会員：30名)

(6) プログラム(要旨集は2部提出)

“初心者のための”電子顕微鏡ABC(1)

永田 文男(リサーチ・ナ)

青山学院大学理工学部機器分析センター 装置見学

STEM-LAADFを用いた材料解析

田中 将己(九州大学)

『ざっくばらんトーク、Q&A』

文責 鈴木敏洋(トポコンテハウス)